



事業所職員向け 児童発達支援自己評価結果表

事業所名 (特非)発達支援ネットワークつむぎ つむぎ吉備中央

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点	改善目標、手立て
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1			・現在は先生とお勉強エリア、小集団での活動エリア、自由遊びエリア、一人でお勉強エリア、園庭、ホールなどを使用しております。定期的な再構造化を行っています。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	1		・実質は足りているが、人手は欲しい ・午後はもう1名いてほしい。	・職員の体制は指定基準を満たしております。また、保育士、社会福祉士、作業療法士などの資格を有したものが支援を実施。今後のより良い支援の向上や発展へ向け、職員の募集を検討中です。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	1		・まだ改善していく点はあるように思う。衝立ての高さ、位置など。	・各利用者様に合わせた個別の支援として物理的構造化(物理的なわかりやすい環境の設定)やスケジュールなどを常に検討していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	1	1	・清掃がいきとどいていない。今後取り組んでいきたい。 ・おひさまエリアの机の数をもう1台増やすと、人数が多い時遊びやすくなると思う。	・日々の各部屋の清掃を週担当が行っています。月に1回は各部屋の安全点検チェックとして危険個所のチェックや行き届きにくい箇所の清掃を行っています。9月より新たな建物となりました。大きな建物でも昨年度同様にきめ細やかな環境美化を各職員が意識できるよう、役割を持って清掃に取り組みます。
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5				

業務改善	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5				
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5				
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1	1	・外部の方に見ていただくことで改善点が見つかりやすい。	・現在は第三者による外部評価を行っておりません。しかし、当法人の各事業所の管理者の視察アドバイスや専門機関の先生による巡回相談の機会を設けております。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5				・各事業所とのスタッフ学習会を2か月に1回開催しています。また、人材育成、キャリアパスなどの様々な研修に職員が参加し、専門研修に努めています。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5			・アセスメントの質はあげていきたい。	・根拠のある専門的な支援の構築として認知発達(物事を適切に捉える学び)、発達領域における苦手とする領域、他者との関わる力など多くのアセスメントを実施しております。より客観性の高いアセスメント評価を大切にしていきます。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5				

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもへの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	1		・認知面の支援、ご家族との相談支援、所属機関とのケース会議や訪問支援など、ご本人様を中心にご家族や所属機関との連携充実も大切にしています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	1		・子どもに合わせて行っているのも良いと感じる。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	1	4		・活動プログラムの立案については管理者より、大目標やプログラムの設定を提示しております。今後、活動プログラムについて職員会議などで共有を行います。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	2		・先生とのお勉強や小集団活動などの活動プログラムは決まっています。活動の内容については認知発達(物事を適切に捉える学び)やソーシャルスキルトレーニング(社会性の技能の学び)、感覚統合(様々な感覚を適切に取り入れる学び)など、様々なプログラム内容を取り入れていきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を敵宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	4	1		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	2	1	・周知は行われていない。確認を行っていききたい。

関係	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	2	2	・共有できていない。振替の時間があるとより良い支援につながると感じる。	・上記同様の取り組みとなります。連絡会にて支援の取り組み内容を高め合えるよう活発な意見交換のある連絡会を目指します。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5				
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	1			
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1		・基本チームリーダーかチーフ、担当者が行っているので良いと感じる。	・サービス担当者会議では管理者だけではなく、現場スタッフなど様々な職員が参画し、情報の共有を行っています。サービス担当者会議は参加職員が事前書類を作成し、管理者の確認の元、参画しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	1			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	1			

機関や保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5				・入学や転園などの移行時期には移行支援会議を2, 3月に実施します。保護者、所属園、所属機関、保健師、相談機関など、関係する多くの関係者と情報共有を行っております。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3		・分からない。	・現在、スキルアップ研修として専門機関の先生による巡回相談の機会を設けています。個別のケースや療育全体の中での多くのご助言をいただき、実践に生かしています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	3		・新型コロナウイルスの関係もありますが、春祭りや地域のイベント出店を計画検討中です。地域のお子さんやつむぎの利用者様が一緒に楽しめるイベントを実施していきたいと思います。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	2	2		・吉備中央町障害者等地域自立支援協議会教育部会に参加し、相談支援ファイルの作成、就学学習会などに携わっています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	2			・保護者の方には活動のねらいや課題の達成度、その様子をご説明しています。共通理解を持つには多くの時間とお子様への理解が必要であり、申し送りに加え、保護者座談会や児童発達支援計画のご説明なども大切にしていきたいです。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	4		1		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	2		・分からない。	・利用にあたり、運営規定や利用者負担、活動プログラムなど、1時間程度をかけて、個別に説明をさせていただいています。

保護者への説明責任等

33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4	1			
34	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1			
35	父母の会の活動を支援し、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	1		・飲食を伴う親睦会は新型コロナウイルスの関係で中止しております。座談会については年5回開催予定とし、保護者同士が気軽に話し合える場を提供しています。
36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5				
37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5				
38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5				
39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4		1		・情報をお伝えする際には視覚的な情報が残るように、メールやメモを多く使用しております。意思疎通の配慮が必要な際はご希望をお聞きし、検討いたします。

	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	1	1	・コロナの関係で行われていないように思う。 ・内覧会の実施。	・内覧会を実施し、地域住民の方にもお越しいただきました。より開かれた事業所運営として地域の愛育委員や民生委員とも連携していきたいと考えています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5				
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5				・非常時に際して防災バックの準備や月に1回の定期的な訓練を実施しております。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	5				
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1	1	・アレルギーの有無は知っている。	・アレルギーに関しては保護者の方に確認し、職員が確認できる管理表を作成しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5				
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5				
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3	2			・契約をさせていただく際に身体拘束を行わないことを約束しております。しかし、1か月のアセスメント期間を経て切迫性、非代替性、一時性として身体拘束について検討の必要がある際には保護者様へご報告、ご相談をさせていただくようにしています。

(特非) 発達支援ネットワークつむぎH30. 9.1～